

教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点

【評価の観点】

- 実際のコミュニケーションにおいて、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを活用できる技能を身につけている。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で簡単な情報や考えなどを理解し、活用して表現したり伝え合ったりすることができる。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いて、コミュニケーションを粘り強く行おうとしている。

【評価の方法】

- 定期試験、小テストによる評価
- ノートやワーク、課題プリントによる評価
- パフォーマンステスト(英会話)による評価
- 授業中の観察による評価

特色ある学習方法

- 授業形態に変化をつけ、生徒一人一人の学習意欲を高めるとともに、学習内容の確実な定着を図る。
- ALTの生きた英語に触れる機会を多くし、常に実践的な言語の使用場面を想定して指導することで、実践的コミュニケーション能力の育成につなげる。
- 視覚的教材を利用し、理解を深めさせる。

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・初対面の相手との会話 ・アルファベットの読み書き ・自己紹介 (be 動詞, 一般動詞, can) ・身近な人の紹介 (be 動詞, 疑問詞) ・部活動(疑問詞, I want to) ・道案内 (命令文, What+名詞 ...?) ・祭り ・自分の好きなこと (前置詞, 動名詞, 過去形) 	<ul style="list-style-type: none"> ・初対面の相手と知り合うために、好きなもの、入りたい部活動などについて、お互いの考えや気持ちを伝え合える。 ・アルファベットの音を聞いて文字が分かり、声に出して読んだりできる。 ・お互いのことをよりよく知るために、名前や出身地、身近な人、希望や夢等について即興でやりとりできる。 ・道案内をしたり、時刻や相手のことを知るために即興でやりとりできる。 ・好きなこと、体験したこと等について即興でやりとりできる。また、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書ける。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・他己紹介 (三人称現在単数形) ・言語等の文化理解 (代名詞, 疑問詞) ・現在の状況、気持ちの理解 (現在進行形, 感嘆文) ・世界や地域の問題 ・好きな有名人や憧れの人 (不定詞, look+形容詞) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達等を他者に知ってもらうために、趣味などについて尋ねた情報を整理し、まとまりのあるスピーチをしたり、紹介文を書ける。 ・人や文化、言葉や食べ物等について知るために、やりとりでき、その内容が書ける。 ・人が今していることや、感動や驚きの気持ちを伝え合い、話せる。 ・世界や地域の問題について自分がしたいこと等の概要を捉え、思いを伝え合い、書ける。 ・好きな有名人を紹介する文章を書ける。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の出来事や冬休みの思い出(一般動詞の過去形) ・1年間の思い出、町紹介 (be 動詞の過去形, There is / are ..., 過去進行形) ・思い出に残った学校行事の発表 ・物語の読解 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去にしたことについて、やりとりし、その内容が書ける。 ・一年の思い出や町の施設について、伝え合い、その内容が書ける。 ・思い出に残った学校行事について発表できる。 ・時間の経過や場面の変化を捉え、登場人物の心情などを読み取ることができる。